

環境変化によるリスクシナリオ

シナリオ	要因・事象	リスク/機会	当社への影響	当社の戦略	
1.5°C 未満	低炭素素材のニーズの高まり	電炉素材への評価向上	機会  大	・高炉鋼材からの置換等による需要増	・製品の基本機能・品質向上 ・脱炭素化を進め、更なる差別化を促進
		脱炭素化要求の高まり	リスク  小	・脱炭素操業体制への移行が進まず、操業難	・省エネ推進、脱炭素技術の開発・導入推進
		調達品の低炭素化進展	リスク  小	・エネルギー以外の調達資材等の単価高騰は限定的	・調達ソースの拡大、代替品の適用
	カーボンプライシング導入	資材調達コストの増加	リスク  小	・合金、資材等の調達コストの増加	・省エネ推進
	スクラップの需要拡大	スクラップ価格の上昇	リスク  大	・電炉ニーズの高まりによるスクラップの争奪 ・スクラップ価格の上昇によるコスト増	・鉄スクラップ価格の変動に応じた販売価格への反映体制の構築 ・鉄スクラップの安定調達化に向けたスキームの構築 ・低品位スクラップの利用拡大、操業技術の確立
	再生可能エネルギーの普及拡大	電気料金の上昇 (再エネ賦課金の増加)	リスク  大	・再生エネルギー賦課金の増加による電気コストの増加	・省電力施策の推進 ・太陽光発電設備の設置推進
	環境意識の更なる高まり	省エネルギー(環境配慮)製品の評価拡大	リスク  小	・電炉ニーズの高まりによる競争の激化 ・脱炭素への適応遅れによる販売機会の損失	・環境配慮型製品の開発推進 ・グリーン資材の調達推進 ・サプライチェーンへの脱炭素化対応
4°C 上昇	異常気象(自然災害)の増加		リスク  小	・生産拠点、設備の被災による生産停止	・BCP対策の推進
		異常気象による災害多発 (台風・豪雨の増加)	リスク  小	・原料、資材の調達停止	・適正在庫の確保 ・更なる調達先多様化(サプライチェーン)
			機会  小	・土木・建築鋼材用途の需要増	・高機能鋼材の開発推進
	作業環境悪化(気温上昇)	労働環境の悪化	リスク  小	・作業環境改善への投資増	・職場環境対策の継続推進